

内田産業株式会社



事業概要

超大型モノレール(単線軌道)の
設計・製造・施工・販売

所在地

京都市伏見区久我西出町11-11

電話番号

075-931-1556

URL

<http://monorail.co.jp>

代表者名

内田 昭治

設立

昭和47年8月

資本金

2,000万円

従業員数

30名

売上高

650百万円(平成30年3月期)

(1)経営理念及び代表者メッセージ

『技術』は絶対に理論通りの設計・生産により完結せよ！

弊社の超大型モノレール(単線軌道)は地滑り対策や山間部での橋梁下部工事等において、急傾斜地での大型化した資機材の運搬とその資機材の積み降ろし作業にかかる労力と安全性の課題に対応し、最大積載4t/最大斜度45度/分速40mの能力を有する動力車と多種多様な機能の4つの特別仕様台車で構成する超大型モノレール運搬システムを開発し多種多様な分野での資機材運搬に活用されています。



(2)技術・製品(事業)の特長

①技術内容

傾斜地で荷物台車と作業ステージとの角度差をなくし、スムーズで安全な荷積み・荷降ろしが可能となるフラットデッキダンプ台車(写真1)、数千m3規模の土砂運搬で効果を発揮する2t三転ダンプ台車(写真2)、複数台使用することにより数拾m3/日の品質の良い生コンを運搬する1m³ミキサー台車(写真3)、重量物を荷積み・荷降ろし・運搬できる2tクレーン台車(写真4)があります。



(写真1)



(写真2)



(写真3)



(写真4)

②技術の用途と機能

フラットデッキダンプ台車は、作業構台にあわせて荷台を水平にでき、バックホウなども自走で作業構台へ移動することが可能となり、安全で効率良く資機材を運搬することができます(写真5・6)。ミキサー台車は、1m³の生コンを攪拌しながら、かつミキサー自体を角度調整でき運搬できます(写真7)。三転ダンプ台車は2トン分の土砂を運搬、サイドダンプにより一括排出でき、クレーン台車は傾斜にあわせて角度調整してアウトリガを設置し、安全なクレーン作業を行うことができます(写真8)。



角度補正なし

(写真5)



45° 荷台角度を補正

(写真6)



(写真7)



(写真8)

③特徴・強み

- ・伐採面積・工事借地面積が少なく、架設に伴う地形改変が不要で自然環境に優しい。
- ・大規模伐採、地形改変が不要なため、架設に伴う斜面崩壊などの二次災害リスクを回避できる。
- ・強風や雨、又は霧など、天候に左右されず何時でも安全に安定して使用でき自然環境に優しく安定して利用出来ます。